

Ⅲ-2 非行防止の取組

【地域ぐるみの

非行予防対策の推進】

1 趣旨

少年非行の未然防止と青少年の健全育成を目的として、様々な関係機関と連携した補導活動・予防啓発活動・環境浄化活動に取り組んでいる。

補導活動では、関係機関と連携し、積極的な巡回補導や姫路駅周辺の街頭補導、行事の際や年末年始の特別補導等を通して、非行の未然防止・早期発見・早期指導に取り組んでいる。

予防啓発活動では、学校や地域等の要請に応じて、薬物乱用防止教室やネットトラブル対策講座を実施し、児童生徒を有害環境から守る取組を進めている。また、西播磨列車通学生徒指導連絡協議会や非行防止大会などの青少年の健全育成を目的とする各種会議や大会を企画・開催し、学校・家庭・地域・関係機関との連携強化を図っている。

環境浄化活動では、青少年に有害な書籍類・DVD等の回収や有害環境の改善を図っている。

いずれの活動も、姫路市少年補導委員会と委託契約を結び、密接に連携しながら取組を進めている。

2 取組の実際

(1) 補導活動

① 街頭補導

姫路駅前を中心に、怠学防止等を目的として、子供たちへ声かけを中心とした補導活動を行っている。駅周辺が他校間交友の場となっている現状があり、学校間トラブル等に発展する可能性もあるため、関係学校連絡会等で情報を共有している。

② 広域列車補導

播但線・姫新線・山陽本線の駅周辺と列車内で非行防止及びマナー指導を目的として、高校教員・中西播地区青少年補導センター・県民局県民センターと協同で実施している。また、播但線では、姫路市少年補導委員が計画的に乗車し、継続的な活動を行っている。

「広域列車補導」活動状況

	今年度(延べ)	去年同期
回 数	70 回	140 回
従事者数	339 人	712 人
声かけ人数	212 人	283 人
喫煙等補導者数	0 人	0 人

③ 特別補導

年末年始やイベント開催時、夏季休業終了時等に、小・中・高・特別支援学校教員、少年サポートセンターと連携して、姫路駅前周辺や市内の大型量販店の補導活動を実施している。特に姫路ゆかた祭りでは、警備会場に少年補導委員会用テントを設置し、声かけ等の補導活動を行っている。

(中止)

「ゆかた祭り補導」活動状況(関係団体:2日間)

協力団体	西播磨地区青少年補導センター連絡協議会・青少年補導委員連合会(神崎郡・相生市・赤穂市・揖龍・上郡町・宍粟市・佐用町・姫路市)・西播磨県民局・中播磨県民センター・播磨西教育事務所・高砂市青少年補導センター・加古川市少年愛護センター及び両補導委員会・姫路市少年補導委員会・市内小中高等学校及びPTA等	
協力者数	6月13日(土)	
	14日(日)	
	合 計	
	内 訳	(中止) 姫路市少年補導委員 PTA・学校関係者・関係機関等

④広域巡回補導

西播磨管内の祭礼やイベント等の行事において、警察・少年サポートセンター・学校補導担当教員・少年補導委員と連携した補導を実施している。

⑤校区巡回補導活動の支援

「地域の子供は地域で守り育てる」という趣旨で行う少年補導委員の活動を支援し、子供たちの健全育成を図るため、各校区やブロックごとのキャンペーン活動に同行したり、広報車による街宣活動を行ったりしている。

(2) 予防・啓発活動

①薬物乱用防止教室

兵庫県警察本部生活安全部少年育成課姫路及び姫路南少年サポートセンターと協力して、薬物乱用防止教室を行っている。非行への入口と言われるたばこや危険な薬物等を題材として、これらが体に及ぼす影響やこれらから身を守るための正しい知識と判断力を児童生徒に身につけさせることを目的として実施している。

「薬物乱用防止教室」実施状況

	校種	回数	人数	備考
1	小学校	23	1,911	保護者・教職員を含む
2	中学校	8	1,576	保護者・教職員を含む
3	高等学校等	1	64	保護者・教職員を含む
	合計	32	3,551	

②ネットトラブル対策講座

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）等を使用した誹謗中傷やいじめ、性や暴力等の有害情報の閲覧やそれらを模倣する行為、また、悪意のある人物との出

会いから犯罪やトラブルに巻き込まれることのないように、最新のネット事情を理解し情報を正しく判断する力の育成、フィルタリング等の必要な対策、親子でのルール作り等、児童生徒が情報メディアを正しく安全に利用できるようになることを目的として実施している。

「ネットトラブル対策講座」実施状況

	校種	回数	人数	備考
1	小学校	12	1,205	保護者・教職員を含む
2	中学校	15	2,691	保護者・教職員を含む
3	高等学校等	0	0	保護者・教職員を含む
	合計	27	3,896	

【ネットトラブル対策講座】



③少年無職化防止対策

市立中・義(後)・特別支援学校教員に少年無職化防止対策指導員(以下「指導員」という。)を委嘱すると共に、少年サポートセンターやひめじ若者サポートステーション等の関係機関と連携し、青少年の中途退学や早期離職等による無職化を防止することを目的として実施している。

指導員の多くは中学3年生及び義務教育学校9年生を担当した教員であり、在校時からの繋がりを活かし、卒業後も悩みを持ったり問題を抱えたりしている生徒への継続支援を行っている。

「少年無職化防止対策指導員」活動状況

対象	高校生等	延べ人数 1,039 人
	有職	〃 112 人
	無職	〃 70 人
内容	来校指導	延べ回数 612 回
	電話連絡	〃 179 回
	家庭訪問	〃 44 回
	職場訪問	〃 19 回
	高校等訪問	〃 94 回
	その他	〃 273 回
合計		1,221 件

④万引き防止対策

青少年の初発型非行である万引きの防止を目的として、万引き防止対策会議を開催している。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会議や啓発用ティッシュの配布を中止した。

防止対策としては、店舗保安員が巡回補導で使用する補導員証を、交付申請があった店舗に交付した。

R1 年度に配布した【啓発用ティッシュ】



(中止)「万引き防止対策会議」実施状況

開催日時	令和2年(2020年)6月23日(火)
対象	小学校校外生徒指導担当者 中学校生徒指導担当者 量販店などの店舗関係者
内容	第1部：全体会 ・姫路市少年補導委員会から量販店等の保安担当に補導員証を発行。 ・警察代表・量販店の保安担当から万引きの実態等についての講話や情報提供。 第2部：ブロック別協議 ・各学校の万引きの現状と防止に向けた取組の報告。 ・ブロックごとの万引き防止啓発活動についての計画。

ビデオ DVD	336	277	91	344	93	252	1393
------------	-----	-----	----	-----	----	-----	------

⑤関係学校連絡会、地域別連絡会

生徒の問題行動の発生には、家庭環境や校内外の交友関係の広がり、校区の状況が大きく影響を及ぼす場合が多い。問題行動の未然防止や早期発見、早期指導により生徒の健全な生活を支援するため、中学校間や関係諸機関との情報交換を行うことを目的として会議を開催している。

〈関係学校連絡会〉

グループごとに日を設定し、10月に計4日間開催。

〈地域別連絡会〉

同じ警察署管内の中学校でグループを組み学期に1回（5月、12月、2月）開催。

⑥不審者対策や迷惑防止に向けた広報活動

子供たちの安全を脅かす不審者等については、危機管理室や警察とも連携し、市内全域を対象に巡回を実施し、登下校における安全確保に取り組んでいる。また、蟬集による迷惑行為を未然に防ぐため、市内の量販店や公園等への巡回補導を随時行っている。

（3）環境浄化活動

青少年の健全育成に有害な図書類・DVD等の氾濫には憂慮すべきところがあり、その対応策として環境浄化対策会議を実施すると共に、市内5ブロックで白ポスト回収事業を行っている。

「白ポスト回収事業」回収状況（R3年3月末）

	姫路駅前	播但線	夢前町	飾磨駅 山電	網干駅 山電	余部駅	合計
有害図書	150	62	44	182	32	49	519
普通図書	56	46	5	265	21	31	424